

【中学校組合】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和5年11月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は、0校であり、総学校数に占める割合も、0％である。しかし、現在の運用において、児童生徒や教員から回線速度に関する不満や意見は寄せられていない。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

現在の接続状況から、センター集中型の構成により、インターネット回線の帯域ひっ迫が課題であると考えているため、令和6年度に実施したネットワーク変更による改善結果をふまえて令和7年度にネットワークアセスメントを実施する予定である。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和6年度に、ネットワーク接続方式を、センター集中型からインターネットブレイクアウト方式に変更した。令和7年度には改善結果の検証を行い、改善完了予定である。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

センター集中型の構成が原因となり、インターネット回線がひっ迫していたことが課題となっていた。課題解決に向けて、小中学校からインターネットに接続させるインターネットブレイクアウト方式へと変更した。具体的には、令和7年3月までに学校にFWの設置と回線の新規開設を行った。